

# 湯川秀樹博士のはじめての銅像 は何故高知に建てられたか

## First bronze statue of Prof. Hideki Yukawa in Kochi

大久保茂男

Shigeo Ohkubo

大阪大学核物理研究センター

Research Center for Nuclear Physics,

Osaka University, Japan

## 湯川秀樹先生のはじめての胸像は何故高知に建てられたか

### First bronze statue of Prof. Hideki Yukawa in Kochi

大阪大学核物理研究センター

Research Center for Nuclear Physics, Osaka University, Ibaraki 567-0047, Japan

大久保茂男\*

Shigeo Ohkubo

**要約** 我が国初のノーベル物理学賞受賞者で中間子論の湯川秀樹博士の胸像(浜口青果作)が1954年3月高知県夜須町の小学校の校庭に、5年間の米国滞在から帰国してまもない湯川秀樹博士および澄子夫人が出席して除幕式が行われ建立されていたことがわかった。この我が国最初の湯川胸像は、よく知られている京都大学基礎物理学研究所湯川記念館前に湯川財団により設置された胸像(1986年山本格二作)より32年以上前に、夜須小学校PTAの住民運動により設置されていた。何故高知の夜須小学校に湯川胸像が最初に建てられ、なぜ湯川夫妻が出席したのか、その経緯・背景が明らかにされる。

**Abstract:** The first bronze statue of Prof. Hideki Yukawa, the first Nobel Prize laureate in Japan, is found to have been built in March 1954 in the Yasu elementary school in the countryside of Kochi prefecture in Shikoku Island. It is also found that the bust sculpture was unveiled with the attendance of Prof. Yukawa and his wife, who were invited by the local people, soon after their coming back to Japan from USA where they stayed for five years for research. This bust bronze statue was contributed by the local people of the elementary school more than 32 years earlier than the well-known one of Prof. Yukawa built in 1986 by the Yukawa foundation in front of the Yukawa Hall, Yukawa Institute for Theoretical Physics, Kyoto University in Kyoto city. Why the statue was built in Kochi is unveiled and the historical background is discussed.

# 要約

**要約** 我が国初のノーベル物理学賞受賞者で中間子論の湯川秀樹博士の胸像(浜口青果作)が1954年3月高知県夜須町の小学校の校庭に、5年間の米国滞在から帰国してまもない湯川秀樹博士および澄子夫人が出席して除幕式が行われ建立されていたことがわかった。この我が国最初の湯川胸像は、よく知られている京都大学基礎物理学研究所湯川記念館前に湯川財団により設置された胸像(1986年山本格二作)より32年以上前に、夜須小学校PTAの住民運動により設置されていた。何故高知の夜須小学校に湯川胸像が最初に建てられ、なぜ湯川夫妻が出席したのか、その経緯・背景が明らかにされる。

# Abstract:

The first bronze statue of Prof. Hideki Yukawa, the first Nobel Prize laureate in Japan, is found to have been built in March 1954 in the Yasu elementary school in the countryside of Kochi prefecture in Shikoku Island. It is also found that the bust sculpture was unveiled with the attendance of Prof. Yukawa and his wife, who were invited by the local people, soon after their coming back to Japan from USA where they stayed for five years for research. This bust bronze statue was contributed by the local people of the elementary school more than 32 years earlier than the well-known one of Prof. Yukawa built in 1986 by the Yukawa foundation in front of the Yukawa Hall, Yukawa Institute for Theoretical Physics, Kyoto University in Kyoto city. Why the statue was built in Kochi is unveiled and the historical background is discussed.

# 1. はじめに

## 京都大学基礎物理学研究所湯川記念館前の湯川秀樹胸像

(2018年6月26日 筆者撮影)

「昭和56(1981)年の湯川の死後、湯川と京都一中で同窓生だった彫刻家菊池一雄は、湯川の胸像制作を構想したが、同60年死去した。財団は湯浅(湯川記念財団理事長のこと、筆者)から胸像制作費として指定寄付を受け、湯川の京都一中の後輩である彫刻家山本捨二(京都市立芸術大学名誉教授)に制作を依頼した。胸像は基研(基礎物理学研究所のこと、筆者)湯川記念館前の木立の中に設置され、**昭和61(1986)年12月11日に除幕式が行われた。**」



図1 (a) 京都大学基礎物理学研究所湯川記念館前の湯川秀樹胸像遠景。

(2018年6月26日 筆者撮影)



図1 (b) 1981年9月8日設置の湯川財団寄贈湯川秀樹胸像近景(京都大学)。

(2018年6月26日 筆者撮影)

2019. 8. 24

徳島科学史研究会・日本科学史学会四国支部2019合同総会—日本科学史学会四国支部設立25周年—(香川大学)

# 2. 日本で最初の 高知の湯川秀樹先生の胸像

## 2. 日本で最初の高知の湯川秀樹先生の胸像

湯川先生が胸像除幕式出席のおりはじめて訪れた高知市の桂浜は月の名所でも知られる景勝の地である。ここには1928(昭和3)年高知県の青年有志によって建てられた幕末の志士・坂本龍馬(1836(天保6)-1867(慶応3)年)の高さ13.5メートルの巨大な銅像(本山白雲作)がある。雄大な太平洋に向かって立つ銅像は龍馬に広い世界の存在を知らしめ雄志をかきたてたジョン・万次郎(中濱万次郎)<sup>\*)</sup>(1827(文政)-1898(明治31)年)が渡ったアメリカ大陸を見つめているようである。1935年核力を引き起こす新粒子の存在を予言する中間子論を建設し素粒子物理学を切り拓いた湯川秀樹先生も夫人とともにこの銅像を見上げたことであろう。その1935年、海援隊長の龍馬と京都河原町三条の近江屋で運命をともにする陸

1954年3月建立された高知県夜須小学校の  
湯川秀樹胸像遠景。  
(2018年11月4日 筆者撮影)



図2 1954年3月建立された高知県夜須小学校の湯川秀樹胸像遠景。

(2018年11月4日 筆者撮影)

# 夜須小学校にある日本で最初の湯川秀樹先生胸像

○  
(2018年11月4日 筆者撮影)



図3 夜須小学校にある日本で最初の湯川秀樹先生胸像。

(2018年11月4日 筆者撮影)

# 湯川秀樹胸像の裏面(香南市夜須町夜須小学校)。(2018年11月4日 筆者撮影)



DOCTOR MR HIDEKI YUKAWA  
STATUE BY MR S. HAMAGUCHI  
6 JAN 1954

図4 湯川秀樹胸像の裏面(香南市夜須町夜須小学校)。(2018年11月4日 筆者撮影)

### 3. なぜ湯川秀樹胸像が 夜須小学校に建立されたか

- 図5 湯川秀樹胸像裏面の銅板設立趣意書。(2018年11月4日 筆者撮影)



図5 湯川秀樹胸像裏面の銅板設立趣意書。

(2018年11月4日 筆者撮影)

# 裏面の銅板設立趣意書

理学博士湯川先生ハ東京都ノ出身京都大学ニ  
物理学ヲ専攻シ中間子ノ原理ヲ発見シテ  
昭和二十四年ノノーベル賞ヲ受ク其ノ偉績  
世界ニ赫赫タリ我等先生ノ偉勲ヲ讃ヘルト  
共ニ兒童ヲシテ先生ノ風貌ヲ景仰シ其ノ  
偉業ヲ感謝シ深ク科学研究ノ重要性ヲ  
感銘セシメンガタメ胸像建設ヲ計画スル  
ヤ町出身縣内外ノ先輩實ヲ寄セラ  
ル町民又協力シ像ナル是レ即チ科学尊  
重ノ精神兒童愛母校愛郷土愛ノ至誠純  
情ノ結晶ナリ嗚呼先生ノ偉業ト隨彦ノ  
熱誠芳情トハ共ニ昭々トシテ永遠ニ範ヲ垂  
ル後進ヲ奨励啓発スル所甚大ニシテ其ノ功  
徳俱ニ無量ナリ此ノ心以テ一町榮ユベク一國興ル  
ベシ感激三塔ヘズ仍テ健像ノ由来ヲ刻  
シテ之ヲ不朽ニ傳ヘ深甚ノ感謝ノ意ヲ表ス

PTA

図6 夜須小学校湯川秀樹胸像裏面に記された胸像設立趣意書の解説文。

# 銅板設立趣意書 解読文

「理学博士湯川先生は東京都の出身 京都大学に物理学を専攻し中間子の原理を発見して昭和二十四年ノーベル賞を受く 其の偉績世界に赫赫たり 我等先生の偉勲を讃へると共に児童をして先生の風貌を景仰し其の偉業を感謝し深く科学研究の重要性を感銘せしめんがため胸像建設を計画するや町出身縣内外の先輩資を寄せらる 町民又協力し像なる 是れ即ち科学尊重の精神児童愛母校愛郷土愛の至誠純情の結晶なり 嗚呼先生の偉業と諸彦の熱誠芳情とは共に昭々として永遠に範を垂る 後進を奨励啓発する所甚大にして其の功德俱に無量なり 此の心以て一町栄ゆべく一國興るべし 感激に堪へず仍て健像の由来を刻して之を不朽に傳へ深甚の感謝の意を表す」

# PTAの自主的運動で 胸像は 子どもたちのために建てられた



図7 湯川秀樹胸像台座一番下、子どもらへのメッセージ碑の写真。(2018年11月4日 筆者撮影 香南市夜須町夜須小学校)

わが子らよ  
先生のごとく  
偉大になれ  
先生の  
御来臨を永久  
に記念し

図8 湯川秀樹胸像台座の一番下(図7)に刻まれた子供らへのメッセージの文面(筆者解説)。

# 図9 湯川秀樹胸像の裏面に記された設立協賛者



図9 湯川秀樹胸像の裏面に記された設立協賛者。

(2018年11月4日 筆者撮影)

# 湯川秀樹胸像の裏面に記された設立協賛者（解説）

昭和二十九年三月二十二日 建設  
主催 夜須小学校 P T A  
協賛 夜須町

協賛者 全 夜須町教育委員会

東京都 高知市同郷会員  
立仙融一 有安繁雄 池川一郎 城武節雄

野馬重喜 西内恒喜 長尾忠親 中村傳一

小笠原直幸 中山堅吉 安岡徳馬 谷内遊亀  
横浜市 山中傳 川村豊吉 安岡友喜  
高橋保 楠本源一 有安恵美子 池田勝吉

大阪市 松岡憲男 瀬川壽喜治 山本義雄  
国光和雄 田中信元 川村作太郎 山崎淑子  
安岡玄一 堀川幸家 川村虎雄  
西山正男 畠中四郎 楠本源三  
岩村煥治 末久 憲 刈谷源吉  
水俣市 有安義喜 谷内良經  
川村智男 松崎得一 城武安之助

図 10 湯川秀樹胸像設立協賛者名(銅板図 9)。(筆者解説)

# 4. 湯川胸像除幕式(1954年3月22日) と湯川秀樹夫妻



図 11 夜須小学校の湯川秀樹胸像除幕式に出席の湯川秀樹、湯川澄子夫妻(左)。除幕したのは写真右側の夜須小学校六年生高橋南海男君と春樹英子さん[37]。校舎は木造である。

# 湯川胸像除幕式(1954年3月22日)と 湯川秀樹博士のあいさつ



「きょうはこんなにりっぱな胸像をたてていただいて感慨無量です、私はあたり前の人間にすぎないが根気よく勉強をつづけただけのことです、この胸像がみなさんの役にたてば大変光榮です」

図 12 湯川胸像除幕式を報ずる高知新聞1954年3月23日(水曜日)夕刊[37]。

# 何故出席したか



「私は皆がいうほど偉人でもなければりっぱな人間でもない。二宮尊徳像にかわって私の胸像建立はどうかと思うが日本では最初のことだし出席することにした」

図 13 高知到着時の湯川秀樹の  
記者会見を報ずる高知新聞(1954  
年3月22日朝刊)[42]。

# 5. 1954年ごろの湯川秀樹の名声

1. 川端康成の新聞連載小説 舞姫：

**一般市民の目線**

2. パイスは著書『物理学者たちの20世紀 ボーア、アインシュタイン、オツペンハイマーの思い出』：

**科学者の目線**

3. 1954年ごろの学校理科教科書と湯川秀樹：

**子どもの目線**

# 川端康成の新聞連載小説 舞姫 の湯川秀樹 —「湯川博士は敗戦日本の栄光で、希望」



図 14 ノーベル賞湯川秀樹の帰朝を描写した川端康成の新聞連載小説『舞姫』[47]。

湯川博士や古橋選手は、敗戦日本の栄光で、希望で、その人気ものが、アメリカの行き帰り、泊まったといふ部屋に、通されたのだから、若い学生は心ときめかせるだらうと、矢木は思ったが、高男はそれほど感じないらしかった。

矢木はつけ加へた。

「ここへ来る手前にね、広い部屋があつたらう。あの二間を打ち抜いて、湯川博士の面会室にあてたんだ。いろいろな人の押しかけてくるのを、なるべくこの居間には、通さんやうにしたんだが、新聞社の写真班が、どこからともなく、庭にしのびこんで来て、変つた姿をねらふから、湯川さんは、ほつとくつろぐ間がありやしない。写真班を入れないやうに、ここの女中が二人、庭の両端で、夜も張り番に立ってゐて、蚊にさされて困ったさうだ。夏だったからね。」

# 舞姫

矢木は庭に目を向けた。

大名竹、布袋竹、寒竹、四方竹など、竹ばかり植ゑこんだ庭で、隅に稲荷の赤い鳥居が見えた。この部屋も竹の間と言ひ、すす竹の天井であつた。

「湯川博士が着いた時、宿の奥さんは病氣だつたんが、久しぶりで日本にお帰りになつたんだから、いい香をたいて、朝顔も咲いてみてと、寝ながら気をくぼつて、庭の木に、せみも鳴いてくれればいい。」

「はあ……………」

「せみも鳴いてくれればいいとはおもしろいね。」

「はあ。」

しかし、高男は同じ話を、前に母から聞いてみた。父は母の受け売りをしてゐるらしいので、息子はおもしろい顔がしにくかつた。

部屋を見まはしながら、

「いいうちですね。お母さんは、今でも、よく来るんでせう。ぜいたくなんだな。」

父は吉野丸太のしぼり手の床柱を背に、ゆつたりと座つて、うなづきはしたが、

「せみは鳴いてくれたらしいんだね。東京の、宿に来て先づ、なつかしむ、せみの声する、庭の木立を。その時の湯川博士の歌だ。湯川さんには、かねて歌のたしなみがある。」

湯川秀樹にかんする記述の2箇所目(p. 232)は小説の終わりの方で次のようである。

つきあたりの庭に、植木屋が、枯松葉を敷いてみた。

そこを右にまがり、また左に折れて、湯川博士が泊つた、竹の間の裏から、庭に出て、

「矢木が来た時、そのお部屋でしたつて……………」(下線は筆者)

# 物理学者パイスの見た湯川秀樹― 「湯川は日本で天皇について有名」



図 15 「湯川は日本で天皇について有名」と述べたパイスの本[49]。

# 『物理学者たちの20世紀 ボーア、アインシュタイン、オッペンハイマーの思い出』

1953年9月11日-24日、日本で最初の国際会議である理論物理学国際会議が京都と東京、日光の会場で開催

パイスは京都での理論物理学国際会議のあい間に、京都の店に美術品を買いに行くにあたって、**湯川に紹介状を書いてもらって、店を訪ねたときのことを次のように記している。**

「私は湯川に、美術品を買いそうな場所を尋ねた。すると彼は、京都の新門前通りにある今井氏の店を訪れるようにと言ひ、紹介状も書いてくれた。次の日、私は学会をさぼってその店に行った。店に入ると、店主が出てきた。年配の威厳ある人物で、私が紹介状を渡すと、大いに驚いた様子だった。湯川は日本で天皇について有名な人物だったことに注意していただきたい。私達は、腰をおろしお茶を飲んだ。」 [49] (下線は筆者)

# (3) 1954年ごろの学校理科教科書と湯川秀樹

湯川秀樹の中間子を説明する1954の学校図書株式会社『教科書『理科 中学校 3年下』[51]』。(注:湯川の生年は1907年1月23日)。

中間子の発見 電子と、原子核をつくる陽子、中性子の三つが素粒子であって、もうこれ以上に素粒子はないと一時は考えられていた。しかし、原子核の中で陽子と中性子がかたくまとまっている力は、それまでの力では説明できないほどの力であった。その力を説明するために湯川秀樹は、その後、中間子と



図 18 湯川秀樹

★ 湯川秀樹 (1906— ) 1935年 中間子の考え

# 6. 湯川はなぜ高知を訪ねたか： 「ノーベル賞のもとには恩師三高校長**森総之助**」

「恩師故**森総之助**元三高校長に物理の手ほどきを受けたので高知は特になつかしい、妻も高知行きを希望しているので出来れば同伴、龍河洞、桂浜などの景勝地を見物したい。」



図 17 湯川の恩師、第三高等学校校長、物理学者の**森総之助**(三高校長室) [56]。

2019. 8. 24

# 高知県野市町出身の物理学者・第6代 第三高等学校の校長を務めた名教授

森總之助(1876(明治9)年5月11日-1953(昭和28)年4月23日)(図17)は高知県野市町出身の物理学者・理学博士で第6代第三高等学校の校長を務めた名教授であった。出身地の高知県野市町が編纂した「野市町史」[55][56]および「高知県人名事典」[57]、「土佐の科学技術者群像」[58]などによると、1876(明治9)年5月11日、高知県香美郡野市村東野19番屋敷で森為義の次男に生まれる。明治25(1892)年高知県立尋常中学校(現在の高知追手前高校)卒業後、京都の第三高等学校に入ったが、学制改変に伴い廃校になったので、級友の多くが東京の第一高等学校を選ぶのに対し、反骨の友人(高浜虚子、河東碧梧桐ら)と共に仙台第二高等学校に転配され入る。のち東京帝国大学理学部物理学科に入り、明治32(1899)年卒業。新潟県長岡中学校教諭を経て、明治34(1901)年母校第三高等学校教授となっている。

野市町史(下巻)[56]は「大正12年47歳にしてドイツに留学し3年間ミュンヘン大学ヴィーン博士(Wilhelm Wien、1864-1928年、明治44(1911)年ノーベル賞受賞)に師事して学識を高めたが、この一事をみ



図17 湯川の恩師、第三高等学校校長、物理学者の森總之助(三高校長室)[56]。

# 湯川と三高校長森総之助

湯川にとって三高校長であった森総之助とはどのような物理の先生であったのか。平沢興第16代京都大学総長(1900(明治33)–1989年(平成元年))は1988年出版の『現代の覚者たち』(p.190)で次のように述べている[54]。

「平沢 ノーベル賞は、よく京都から出るといわれますね。いままで日本で七人ノーベル賞もらっているんですが、そのうち五人、すなわち湯川秀樹、朝永振一郎、江崎玲於奈、福井謙一、利根川進氏は京都からです。そしてこのうち、初めの三氏はいずれも物理学の受賞者です。

これにはいろいろの原因があり、京都の自然とか、京大の個性を尊ぶ自由の空気なども関係しているでしょう。しかし、物理学賞の三氏などは、京都というよりも、京都の三高に物理学の先生で、森総之助という素晴らしい独創的な物理学の先生がおられたんです。この三氏は、森先生の教え子です。つまり、ノーベル賞のもとには森総之助なんです。

Q その先生が偉かったんですか。

平沢 そう。この人は本当に学問好きな人。のちに、三高の校長になりましたが、こ

# 「森総」と通称されて、わが国物理学史上不朽 の功績： 多くの本を執筆

\*\*\* 湯川が第三高等学校に入るまでに森総之助は次の本を出版していて、湯川は自伝[43]で「森総之助という有名な物理の先生」と記し、これらの本で勉強したと思われる。森総之助著『最新物理学講義』(宝文館,1908)、『実験及ビ理論物理学.熱学』(積善館,1916)、『実験及ビ理論物理学.音響学』(積善館,1917)、『実験及ビ理論物理学.光学』(積善館,1917)、『実験及ビ理論物理学.重学及物性論』(積善館,1917)、『実験及ビ理論物理学.電気及磁気学』(積善館,1917)、『最新物理学精義』(積善館,1920)；森総之助編『物理学:実験及ビ理論.熱学』(積善館,1909)、『物理学:実験及ビ理論.音響学』(積善館,1909)、『物理学:実験及ビ理論.光学』(積善館,1909)、『物理学:実験及ビ理論.電気学』(積善館,1909)、『物理学講義実験法』(丸善,1911)。

# 3月23日は午前の講演が始まるまでの小時間を利用して、夫妻で桂浜を訪問



図19 景勝地桂浜を訪ねた湯川秀樹夫妻(1954年3月23日)[68]。

# 7. 寺田寅彦銅像の設置運動— 物理学者寺田寅彦と湯川秀樹



図20 2018年7月24日高知市  
城下に設立された寺田寅彦像。  
(2018年12月18日筆者撮影)



図21 高知県夜須小学校の「湯  
川秀樹先生像」の銘板と正面像。  
(2018年11月4日 筆者撮影)

# まとめ

1. 湯川秀樹博士の銅像が京大のものよりもはるかに前に高知県夜須小学校に設立されていた。
2. 住民の寄付・自発的運動でこどもたちの教育のため科学振興を願って建立
3. 湯川博士も賛成し夜須小学校の除幕式に夫妻で参加し挨拶した。
4. 湯川の高知訪問は恩師森総之助3高校長と関係がある
5. 森総之助は湯川の物理の手ほどきをし影響を与えていた

# 参考アドレス

- 論文のアドレス
- **素粒子論研究電子版2019年5月号**「湯川秀樹先生のはじめての胸像は何故高知に建てられたか」
- [http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~soken.editorial/sokendenshi/vol28/sokendenshi\\_2019\\_28\\_4.html](http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~soken.editorial/sokendenshi/vol28/sokendenshi_2019_28_4.html)
- コーネル大学の科学史のpreprint-server ArXiv番号  
arXiv:1905.07707
- <http://arxiv.org/abs/1905.07707>
- 日本の研究者情報システム Researchmap の大久保茂男
- <https://researchmap.jp/nuclear-rainbow>